

日本文化とAI シンポジウム2019 #くずし字AI



ROIS-DS人文学オープンデータ共同利
用センター (CODH)

国立情報学研究所

北本朝展 (KITAMOTO Asanobu)

<http://codh.rois.ac.jp/>

主催



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館

National Institute of Japanese Literature



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

National Institute of Informatics

1. 情報・システム研究機構 データサイエンス
共同利用基盤施設
(ROIS-DS)
人文学オープンデータ
共同利用センター
(CODH)
2. 人間文化研究機構 国
文学研究資料館
3. 情報・システム研究機構 国立情報学研究所

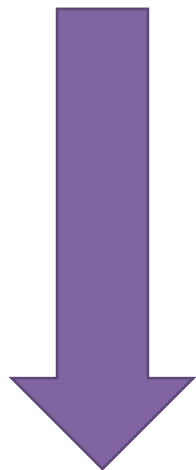
AIがくずし字を読む時代が やってきた

- 事前申込375名！！
- 今日のテーマ = 「くずし字AI」
- 「くずし字」という人文学分野と、
「AI」という情報学分野の接点。
- 様々な分野の方々が、いわゆる「文系」
「理系」の壁を越えて集まる。
- AIを必要以上に恐れることなく、便利な
道具として使いこなせるか？

シンポジウムのきっかけ

**「くずし字」の認識に世界の
AI研究者・技術者が挑戦
—全世界的コンペティション
をKaggleで7月から開催—**

NIIプレスリリース
2019年7月10日



11月に表彰式

The screenshot shows the Kaggle competition page for 'Kuzushiji Recognition'. The title is 'Kuzushiji Recognition' with the subtitle 'Opening the door to a thousand years of Japanese culture'. The prize money is listed as '\$15,000 Prize Money'. The competition is organized by 'ROIS-DS Center for Open Data in the Humanities' and has '293 teams' participating. The page includes navigation tabs for 'Overview', 'Data', 'Notebooks', 'Discussion', 'Leaderboard', and 'Rules', along with a 'Join Competition' button. The description section is partially visible, starting with 'Build a model to transcribe ancient Kuzushiji into contemporary Japanese characters'.

くずし字データセットが 100万文字に「本日」到達！

- くずし字AIを開発するには「データセット」が不可欠（今日の大事なポイント）。
- 国文学研究資料館が日本史上最大（？）100万文字のくずし字データセットを構築し、CODHがそれを整理して公開。
- データセットがくずし字AI研究を活性化し、Kaggleコンペなどに発展した。
- 似たような展開は他のテーマでも可能？

プログラムの構成

- **セッション1** – 日本の文字文化とAI
- **基調講演** – AIによるくずし字認識の展望
- **セッション2** – くずし字データセット100万文字公開とデジタル人文学研究
- **セッション3** – Kaggleコンペティション
- **セッション4** – Kaggle授賞式、Kaggle入賞者講演、ディスカッション
- **人文学から情報学へとテーマが変化。**

デモコーナー

1. ROIS-DS人文学オープンデータ共同利用センター（くずし字AI、顔コレ、歴史ビッグデータ、近代OCR）
 2. 国文学研究資料館（データベース、古典籍）
 3. 奈良文化財研究所
 4. 東京大学史料編纂所
 5. 国立国会図書館
 6. 国立歴史民俗博物館
- **日本の文字文化に関する研究を一覧できます！**

Kaggle授賞式・講演

- 「くずし字」の認識に世界のAI研究者・技術者が挑戦！
- 結果：1位中国、2位ロシア、3位日本、4位中国、5位ドイツ。くずし字が読めなくても、研究に参加できる。
- 上位10名のうち、6名が本日参加！それぞれの解法および感想を講演する。
- 世界規模の広がりを肌で感じて下さい！

日本文化とAI

- AIがどんな役割を果たすか、どんな危険があるかは、使いながら考えていく。
- AIが文字を読んだとしても、意味はわからない。最終決定はあくまで人間。
- AIは**日本文化の研究を進展させる道具**として、今後は不可欠になるでしょう。
- **皆さんと一緒に、日本文化とAI研究の関わり、その未来を考えていきましょう！**